

令和7年第1回定例会 文書質問
長沢 興祐 議員

回 答 書

1 インフラのさらなる徹底した安全対策について

質問の要旨 ①

高度経済成長期に整備された足立区内のインフラは、長年にわたり私たちの生活基盤を支えてきた。しかし、これらのインフラの多くは築年数が経過しており老朽化が進行している。

この問題に対して、昨年12月に発生した千住大橋駅の橋桁倒壊事故は非常に深刻な警鐘を鳴らした。この事故が示すように、インフラの老朽化が招く安全リスクは、私たちの日常生活に直結している。

さらに、このような事故は足立区のみならず、全国各地で発生しており、特に八潮市や千葉県、愛知県など近隣地域においても道路の陥没やその他のインフラ関連の問題が報告されている。これらの問題が引き起こす社会的・経済的な影響は計り知れない。

それを受けて、足立区内では上下水道の緊急点検が行われたが、それだけでは不十分だ。公共のインフラ全般に対して、今後さらに徹底した安全対策が求められる。特に、道路、鉄道、空路、水路などのインフラ設備は、住民の生活や経済活動に直結しているため、点検や保守の手抜きがあってはならない。

今後も安全で安定した生活環境を確保するためには、これらのインフラが健全に維持されることが不可欠である。また足立区をはじめとする東京のインフラが正常に機能しなければ、首都圏全体、さらには全国経済にも甚大な影響を与えることになる。

(1) したがって、道路や鉄道、空路などのインフラを所管する各機関には、定期的かつ徹底的な安全点検を実施することを区として強く求めるべきである。また、この問題を23区特別区長会や建設部長会を通じて、全区自治体に一貫した取り組みとして要請することが重要だと考えるかどうか。

回 答 ①	現在、国では、国土強靱化に向け新たな計画の策定方針を示し、6月の計画決定を目指しています。この中で、上下水道管など、災害に強いインフラ整備の重点施策を盛り込む方針を示しています。 また、八潮市の道路陥没事故を踏まえた対策検討委員会が設置され、点検頻度や技術的な点検、維持更新や再構築を支える制度のあり方を検討しています。 道路や鉄道につきましては、こうした国の取組方針や結果を踏まえ、区としましても、各機関に定期的な安全点検実施を強く要望してまいります。 空路につきましては、これまでも羽田空港の機能強化に関する会議を通じて、安全対策の徹底等を、航空会社や航空機メーカーと連携して進めるよう、国へ申し入れを行っております。 あわせて、特別区長会や土木主管部長会に、23区全区の取組として要請できるよう、提案してまいります。 (担当所管：都市建設部 都市建設課)
質問の要旨 ②	(2) 時間の経過とともに今後もインフラの老朽化が進んでいく現状を踏まえ、早急に整備計画を見直し、着実に実行していくことが必要と考える。住民の安全を最優先に考えた施策を推進し、区民が安心して暮らせる環境を維持することが我々の責任だ。以上の点を踏まえ、行政として一層の取り組みを強く求めるがどうか。
回 答 ②	区では、道路や橋りょうの整備計画として、道路維持補修計画や橋りょう長寿命化修繕計画があります。 今回の八潮市の道路陥没を受け、道路の保守計画は令和7年度に道路の凹凸の深さやひび割れ量により評価する調査を実施し、結果がわかり次第、この先10年間で優先的に改修する路線を再選定する計画の見直しに着手してまいります。 橋りょうにつきましては、橋の状態を把握するための5年毎の点検に基づくデータから、予防保全の観点を考慮し、補修の優先順位を見直すための委託を令和7年4月に発注できるよう準備を進めております。また、設置から50年以上経過した橋につきましても、令和元年度に策定いたしました橋梁更新基本計画に基づき、計画的に架け替えを実施してまいります。 引き続き、国や東京都の動向を注視し、区民が安全・安心に暮らせる環境を維持するために、整備計画の見直しに取り組んでまいります。 (担当所管：都市建設部 都市建設課)